平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績1						
	団体名	川端物語実行委員会	代表者	米村 京子		
事業者	団体の主な活動	中心市街地をもっと活性化し、市民のみなさんとの交流を盛んにするため、「懐かしの映画ポスター展」を過去4回開催した。				
	助成事業名	懐かしの映画ポスター展				
	事業目的 映画館で賑わった青春時代を思い出し、多くの市民に、ゆったていただき、町の活性化につなげる。					
	事業の内容	川端1丁目・2丁目の川端銀座通りの店のショーウインドーに昔懐かしい 洋画ポスターを飾る。				
	実施場所	川端通り1丁目・2丁目 の各店舗	実施日	平成19年4月25日 ~5月2日		
事業内容	対象者	市民全体	参加人数	23軒(実施店舗数)		
	事業実施による効果	映画館の町として繁栄を極めた時代を懐かしみ、青春時代を思い返すこのできる企画であった。また、若者達にも新鮮に映り、彼らとの会話が弾んだ。 前回までは同じポスターを繰り返し展示していたため、少し中だるみしたが、今回は保存状態のよい新たなポスターをコレクターから借りて開催することができた。 ホームページを見た三重県桑名市からポスター展をするためポスターを仰りたいと打診があり、桑名市の方との交流を深めることもできた。				
	今後の活動の展望	川端通りを多くの人に知ってもらい、元気がある町をアピールする をた。川端通りでの野外シアターも3回開催されているので、ポスター 起爆剤として、中心市街地の活性化につなげたい。				
費用	総事業費	124,265円	助成金額	99,000円		

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績2					
	団体名	学び支援ネットinとっとり	代表者	西村 健二	
事業者	団体の主な活動	子どもの特質向上及び健全相互の情報交換や、地域社			
助成事業名 おもしろ体感ゾーン					
	事業目的	子どもたちの健全な育成を図るための方策の1つとして ・子どもたちの理数離れ、学力低下を解消する。 ・子どもたちの国際理解を応援する ・子どもたちの集中力を高め、自ら考える力を培う。			
事業内容	事業の内容	おもしろ実験コーナー (小5)液体チッソを使った実験、(小6)放射線を見る霜箱 おもしろものづくりコーナー 金属のキーホルダーづくり おもしろ計算・図形コーナー やや難しい問題、パズルに挑戦 おもしろふれあいコーナー カードやゲームを使ってネイティブと英語を話す体験 事業の内容			
	実施場所	末恒小学校	実施日	平成19年10月24日	
	対象者	末恒小学校5,6年生	参加人数	延べ153人	
	事業実施による効果	・子どもたちが実験を通して自然の不思議、楽しさを体感できた。 ・ものづくりを通して自ら手作りするすばらしさを体感できた。 ・おもしろ計算問題を考えることにより集中力、解いたときの喜びを感じることができた。 ・おもしろ図形問題を解く過程で、試行錯誤することの有効性を理解し、イメージすることの必要性を認識できた。 ・英語をネイティブとする外国人とのふれあいを通し、英語への関心を高めると共に、外国への興味を抱かせた。			
	今後の活動の展望	・毎年、子どもたちの学力、成長の促進につながるような、「教育ふれあい」 ラザ」(おもしろ体感ゾーン)を実施しつつ、中身をよりよいものに充実させだい。 ・新たな会員を募りつつ、活動の回数を増やしていきたい。			
費用	総事業費	89,277円	助成金額	71,000円	

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績3						
	団体名	市民活動団体 言語障害 自助グループひばり会	代表者	中島 助太夫		
事業者	団体の主な活動	言語障害と必発する身体・高次脳機能障害者の自助と会話援助、身体介護、行動手順介護を支援者が共助し、暮らしやすい社会をつくる。				
	助成事業名	言語·身体·科	高次脳機能障害者	の外出支援		
	事業目的	普段、市民が楽しむ季節の子への移乗、移動、公共トイ中に共生のまちづくりを広げ	レでの排泄、会話、	が行う時に必要となる車椅 行動手順を介助して市民の		
		(1)春の湖山池公園までの公共バスの乗り方手順行動の共生 (2)夏の河原町でソーメンの涼を味わう野外活動の共助、バス公助 (3)秋の安蔵森林公園での楽器の奏で合い、煮炊き手順の共生、バス公助				
	事業の内容					
事業内容	実施場所	(1)湖山池公園 (2)河原町中央公民館 (3)安蔵森林公園	実施日	(1)平成19年5月13日 (2)平成19年8月5日 (3)平成19年10月14日		
	対象者	障害当事者と市民、学生な どの支援者	参加人数	延べ51人		
	事業実施による効果	バス会社は当日スロープ/ のバスを用意したため、両麻 険をいとわない労務提供した じて身につけた。	痺の者が乗降する			
	今後の活動の展望	年間4回、会話や身体活動 移動の援助、財政助成につ				
費用	総事業費	83,836円	助成金額	67,000円		

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績4							
	団体名	ねぇよんでの会	代表者	奥村 暁美			
事業者	団体の主な活動	・0,1,2才の絵本リスト「ねぇよんで」を作成 ・ブックスタートの読み聞かせボランティアとして協力 ・おはなし会の出前活動 ・研修会の実施(わらべうた、昔ばなし、パネルシアター、ストーリーテリング など)					
	助成事業名 わらべうた研修講座						
	事業目的	人と人との心のつながりを深 できる人材を育成するととも	人から人へと長い間うたい継がれてきた「わらべうた」には、言葉を育て、 人と人との心のつながりを深める力がある。「わらべうた」を学び、伝承普及 できる人材を育成するとともに、子育て中の保護者に「わらべうた」を伝え、 楽しい子育ての手がかりとなるような機会を設ける。				
事業内容	講演会	(1)脇本幸子氏のわらべうた講座 1部:親子対象にわらべうたあそびの実施(0~2歳親子) 2部:わらべうたの理論と実践(読み聞かせボランティア,保健師,介護士等) (2)山本淳子氏のわらべうた講座 1部:親子対象にわらべうたあそびの実践(0~2歳親子) 2部:親子対象にわらべうたあそびの実践(3~5歳親子) 3部:わらべうたの理論と実践(読み聞かせボランティア,保健師,介護士等)					
	実施場所	(1)鳥取市中央保健センター (2)鳥取市立中央図書館	実施日	(1)平成19年6月18日 (2)平成19年9月30日			
	対象者	子ども,保護者, 読み聞かせボランティア, 保健師,介護士等	参加人数	延べ321人			
	事業実施による効果	「わらべうた」を長年伝承している2人の講師から親子でわらべうたあそを学び体験することにより、参加した親子は人と人とのぬくもりと心地よさ実感し、子育てに取り入れる意欲を得た。また、保育,育児,子育て支援,高者福祉などに携わる者が理論とと実践を学ぶことにより「わらべうた」が人のつながりを深める力があることを実感し、各現場において「わらべうだを紹介し、市民に広く発信するきっかけとなった。					
	今後の活動の展望	うあそびも含まれており、近年りにおいて有効であることを	年希薄となり危惧さ 認識した。今後のお 広めていく予定。さ	はなしの出前講座において らに今回限りに終らず、研修			
費用	総事業費	120,890円	助成金額	96,000円			

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績5						
	団体名	特定非営利活動法人 とっとりフィルムコミッション	代表者	清水 増夫		
事業者	団体の主な活動		·映画やテレビドラマ等の誘致及び支援 ·映画上映(ロケ地映画祭、映画を観る会) ·高齢者対象出前上映会			
	助成事業名 ロケ地映画祭					
	事業目的	鳥取県内でロケされた日本 資源として活用していく。また 映画を撮ってもらうため、彼ら の映画ポスター展」を行う。	た、鳥取県出身の若	手映像作家に、鳥取県内で		
	事業の内容	(1)自主製作映画上映会 (2)ロケ地映画上映会・優秀映画上映会 (3)鳥取ゆかりの映画ポスター展				
	実施場所	(1)(3)鳥取市文化センター (2)鳥取県民文化会館	実施日	(1)平成19年10月13日 (2)平成19年10月20日 (3)10月13日~19日		
	対象者	一般市民	参加人数	257人		
事業内容	事業実施による効果	(1)「ロケ地映画上映会」で「 丘を、『花いちもんめ』は三朝 映画は人権学習としての効! は、鳥取県出身の5人の若弓 を応援した。さらに(3)「鳥取! 画や県出身映画監督作品な 喜ばれた。このような多彩な の活性化を図った。	月温泉を全国に発信 果もあった。また、(2 F映像作家の新鮮な かりの映画ポスタ こどの50枚のポスター	していることを確認した。両)「自主製作映画上映会」で は映画を上映・鑑賞し、彼ら 一展」を開催し、県内ロケ映 ーを展示して、多くの市民に		
	今後の活動の展望	ロケ地映画祭は平成20年度も形を変えて開催する予定。				
費用	総事業費	258,996円	助成金額	100,000円		

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績6					
	団体名	国府万葉祭り 実行委員会	代表者	平田 哲也	
事業者	団体の主な活動	市町村合併を記念して、さらに地域を大切にし、地域住民の連携と活性化 を図るため、国府万葉祭りを実施する。			
	助成事業名		国府万葉祭り		
	事業目的	よりよい国府町を知ってもらうため、地元や他地区の郷土芸能などの場を設け、一般市民によるフリーマーケットや各種イベントにより市楽しんでもらう。			
	事業の内容	・一般市民参加のフリーマー・地域の郷土芸能(傘踊り)を・消防局協力による体験試験	Eはじめ、各種団体(
	実施場所	因幡万葉歴史館	実施日	平成19年10月14日	
事業内容	対象者	一般市民	参加人数	約2000人	
鳥取市内はもとより、倉吉、米子、松より、少しでも国府町のよいところを知					
	事業実施による効果				
	今後の活動の展望	会員や、フリーマーケット参加者の増員を図りたい。			
費用	総事業費	217,449円	助成金額	100,000円	

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績7						
	団体名	鳥取環境大学 SAKYU自由楽園部	代表者	井土 洋志		
事業者	団体の主な活動	鳥取砂丘で、小学校3年生から中学校の子どもを対象に、学生が企画した プログラムを通した他世代との交流を行う。				
	助成事業名		SAKYU自由楽園			
	事業目的	子ども達が大学生や大人、 出会いや仲間づくり、居場所 や興味を持ってもらう。				
	事業の内容	小イベント(6月)・DAYキャンプ(7・11月) 小イベントやDAYキャンプでは、参加者がチームに分かれて自然を生かし たゲームや砂丘にちなんだストーリーの劇を行った。スタッフはチームリー ダーや裏方となってイベント運営を行った。				
	実施場所	鳥取砂丘文芸広場	実施日	平成19年6月16日 7月26日 11月10日		
事業内容	対象者	小学校3年生 以上の小中学生	参加人数	延べ82人		
	たい」などの感想があり、良年生の子どもが来年はスたと感じた。世代間交流の					
	今後の活動の展望	ます、毎年イベントを継続し ンプができるよう、体制を強作 出に残るイベント作りをしてし	化する一方、砂丘の	ていきたい。 また、 1泊のキャ より広い部分を使い、 思い		
費用	総事業費	152,197円	助成金額	76,000円		

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績8					
	団体名	鳥取おやこ劇場	代表者	小濱 浩美	
事業者					
	助成事業名	北島尚	志講演会「まちをゐ	あそぶ」	
	事業目的	育児に対する情報があふれ像メディアに頼る育児を見直価値と質について再考し、おりへの意識をもっていただく。	し、特に就学前の子母さん達にも子ども	子供に最も大切な「遊び」の	
事業内容	講演会	(1)第一回井戸端会議「メデ(2)第二回井戸端会議「地域(3)北島尚志講演会「子ども	域で守る地域の子ど	も」	
	実施場所	(1)(2)アクティブとっとり (3)鳥取県民文化会館	実施日	(1)平成19年9月21日 (2)平成19年11月16日 (3)平成19年12月3日	
	対象者	子育て中の保護者、子ども のためのボランティア活動 に関わる人々	参加人数	延べ81人	
	事業実施による効果	市内各地で子どもを守るためのボランティア活動が行われていることがわかり、それに携わっている方々への感謝の念を新たにした。その一方で、子どもの想像力をのばす遊び場や道草の機会がうばわれていることに危惧をもった。多くの若いお母さんたちとともに、子どもの世界に寄り添える遊び心のある大人として見守っていこうとの共通認識を持てた。			
	今後の活動の展望	子どもの遊びをひろげるために、遊びのプロ、演劇人などによる遊びの ワークショップの開催を、来年度に予定している。			
費用	総事業費	159,462円	助成金額	100,000円	

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績9					
	団体名	科学遊び広場	代表者	足利 裕人	
事業者	団体の主な活動	学校の理科の教員が中心 さを知り,科学への興味を養 で科学教室を開催している。		,て科学を学び,科学の楽し る。1997年7月より毎年市内	
	助成事業名	Ħ	イエンスカフェ鳥	取	
	事業目的	などとは異なり,研究者が市	市民と科学者がコーヒーを飲みながら気軽に話し合う場で,従来の講演会などとは異なり,研究者が市民の輪の中に入って,話題を提供し,皆で考え 議論しながら科学への理解を深める。		
事業内容	事業の内容	(1)「科学とニセ科学」 講師:大阪大学サイバーメディアセンター 菊池誠教授 (2)「今の紫外線は,どのくらいこわいのか」 講師:神戸大学発達科学部 中川和道教授 (3)「環境とエネルギー 今私たちにできること」 講師:近畿大学理工学部 渥美寿雄准教授			
	実施場所	cafe SOURCE(カフェ・ソース)	実施日	(1)平成19年9月15日 (2)平成19年11月14日 (3)平成19年12月22日	
	対象者	一般市民	参加人数	延べ82人	
	事業実施による効果	最近はテレビや新聞,インターネットなどを通して科学情報が簡単に得られるようになったが,マイナスイオンやアルカリイオン水等のニセ科学が家電メーカーにまで利用され,市民は健康ブームに踊らされている。オゾンホールの拡大による紫外線の危険性や,化石燃料の使用拡大による二酸化炭素の排出による温暖化等,市民が一人一人できる防衛策や正しい科学的知識を持って対処する方法を直接学ぶことができた。			
	今後の活動の展望	鳥取大学や鳥取環境大学,鳥取短期大学等と連携して,地元での科話題を取り上げ,もっと開催回数を増やしたい。			
費用	総事業費	130,000円	助成金額	100,000円	

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績10							
	団体名	河内川の会	代表者	土橋 敬明			
事業者	団体の主な活動	·渓流魚の放流·保護活動 ·河川清掃維持活動 ·子供対象の体験イベント	·河川清掃維持活動				
	助成事業名	賑わい	ハのある水辺作り	プラン			
	事業目的	流域の生物多様性を復元し、 魅力のある地域を創造し、定					
	1.魚生産者と釣り人団体、地区民による ・ヤマメ稚魚放流 5月5日 20人 ・子供の触れ合いイベント 川遊び、釣り体験 7月28日 100人 ・燻製教室 20年1月14日 20人 2.小鷲河地区民と共同 ・草刈り 6月3日 100人 ・ゴミ拾い 11月3日 50人 3.地区民と共同による ・コスモス植栽 7月29日 10人 ・菜の花植栽 10月7日 10人 4.河川公園の整備(鳥取県支援)						
事業内容	実施場所	河内川流域	実施日	上記のとおり			
	対象者	会員·一般市民· 遊漁者·小学生	参加人数	延べ310人			
	事業実施による効果	・地域住民に結束が生まれ、 連携した取り組みができた。 ・地域の美化・保護活動への 取り組みに理解が生まれた。 ・地区公民館との連携によっ て、河川公園を整備することが できた。					
	今後の活動の展望	新たな水辺体験施設を整化 休耕田を利用したビオト 水辺公園と釣り池の整体 イベントの実施	ープ				
費用	総事業費	234,000円	助成金額	184,000円			

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績11					
	団体名	山王さん周辺活性化協議 会	代表者	竹内 房男	
事業者	団体の主な活動	美しい湖山池と山王さんの恵まれた自然を子孫に伝えていくとともに多くの人に開放し、理解していただく。 ・日本海新聞に記事掲載 ・公開セミナーの開催など			
	助成事業名	山王さん	」古墳前広場安全	柵設置	
	事業目的	整備中である山王さん古墳 設置する。	前広場の来訪者の)安全を保つため、安全柵を	
	事業の内容	山王さん古墳前広場への多	山王さん古墳前広場への安全柵設置		
	実施場所	布勢 山王さん古墳前広 場	実施日	平成19年11月1日より 平成20年3月20日まで	
	対象者	会員	参加人数	50人	
事業内容	事業実施による効果	湖山池湖岸のなぎさ整備に伴い不要になった木製柵を再利用 3.効果			
	今後の活動の展望	お花畑ゾーン北駐車場と当り として掲げたい。	也内に「因幡民談記	」所蔵の布勢城の図を看板	
費用	総事業費	284,240円	助成金額	200,000円	

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績12					
	団体名	鳥取朗読の会	代表者	八百谷 和子	
事業者	団体の主な活動	毎月2回わらべ館での朗訪 H19年6月 「朗読の日朗訪		テープ作成、	
	助成事業名	朗読に	こ親しもう ~雛が	たり~	
	事業目的	 朗読に対する市民の認識を高めたい。 日本固有の伝統行事ひな祭りの素晴らしさを認識し、地域や家庭に対する愛情・絆を深める契機とする。 会員の朗読技術のレベルアップ 慣例の朗読活動外部講師による練習(5回)「朗読に親しもう~雛がたり~」実施 			
事業内容	事業の内容				
	実施場所	、 さざんか会館 わらべ館イベントホール	実施日	平成19年6月~11月 平成19年12月 平成20年3月3日	
	対象者	朗読に興味をもつ鳥取市民	参加人数	主催者を含め70人	
	事業実施による効果	・事業がテレビ・新聞で報道され、広〈市民に朗読会の様子が伝わった。 ・朗読会には50人を超えるお客様が来場し、回収したアンケートから、来場者に満足して頂けたこと、来年度の実施を求める声を聞〈ことができ、会員のモチベーションが上がった。 ・他の講師の指導を受け、音響・照明のプロによる演出を実施したことで、朗読会としてのレベルが格段に上がった。			
- 4/8(火)鳥取市用瀬町 流しびなの館にて朗読会「雛がた定。 - 6/19は朗読の日。他団体へも参加を呼びかけ、多様な朗フェスティバルを開催したい。 ・来年度も「朗読に親しもう~雛がたり~」を開催したい。				、多様な朗読を楽しめる	
費用	総事業費	85,419円	助成金額	64,000円	

平成19年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績13				
事業者	団体名	特定非営利活動法人 鳥取環境市民会議	代表者	土井 倫子
	団体の主な活動	・講演会及び出前説明会開催による学習啓発活動 平成18年度 講演会・・・8回 出前説明会・・・5回 ・「雨」をテーマとする環境問題とまちづくりの取り組み 講演会の多くは「雨」をテーマとしたものであり、これまでは 学習中心、今後は実際のまちづくりへ一歩を踏み出す予定。		
事業内容	助成事業名	学習啓発活動のための情報発信事業		
	事業目的	環境問題とまちづくりに関する講演会及び行政の出前説明会を開催することにより、会員と一般市民の意識を高めて、地域の生活環境と地球環境の保全に努め、地域の活性化にも寄与することを目的とし、イベント実施のための情報発信を行なう。		
	事業の内容	講演会 ・「鳥取ときのこの親いい関係」 日時:平成19年4月14日(土) 会場:放送大学鳥取学習センター 講師:(財)日本きのこセンター 時本景亮 副所長 他計7回 出前説明会 ・「鳥取の井手とため池の歴史と現状」 日時:平成19年5月17日(木) 会場:アクティブとっとり 説明:鳥取県農林水産部 耕地課 地域農業基盤室 他計2回 環境フォーラム ・「地球温暖化により身近な環境はどう変わるか 私たちは何をするべきか?」 日時:平成19年11月10日(土) 会場:鳥取県立図書館 (氷河・雪氷圏環境研究舎との共催) 時雨と虹のまち 鳥取の魅力について語る会日時:平成20年2月23日(土) 会場:城下町とっとり交流館 高砂屋		
	実施場所	鳥取市内	実施日	平成19年4月 ~ 平成20年3月
	対象者	当会会員と一般市民	参加人数	総参加者数380人
	事業実施による効果	イベントの周知が難しかったが、直接案内を郵送したリピーターの方の参加が多く、会員増につながった。		
	今後の活動の展望	これまでの活動で、環境問題及びまちづくりについて分かってきたこと があり、これを継続して学習を更に深め、問題解決に繋げていきたい。		
費用	総事業費	131,980円	助成金額	67,000円